

逗子だより

泉鏡花

青空文庫

原口の瀧、いはれあり、去ぬる八日大雨の暗夜、十時を過ぎて春鴻子來る、俵より出づるに、顔の色慘しく濡れ漬りて、路なる大瀧恐しかりきと。

翌日、雨の晴間を海に行く、箱根のあなたに、砂道を横切りて、用水のちよろ／
 蟹の渡る處あり。雨に嵩増し流れたるを、平家の落人懐じき瀑と錯りけるなり。因
 りて名づく、又夜雨の瀧。

此瀧を過ぎて小一町、道のほとり、山の根の巖に清水滴り、三體の地藏尊を安置
 して、幽徑磽たり。戯れに箱根々と呼びしが、人あり、櫻山に向ひ合へる池
 子山の奥、神武寺の邊より、萬兩の實の房やかに附いたるを一本得て歸りて、此
 草幹の高きこと一丈、蓋し百年以來のもの也と誇る、其のをこの國訛にや、百
 年といふが百年々々と聞ゆるもをかしく今は名所となりぬ。

嗚呼なる哉、吾等晝寢してもあるべきを、かくてつれ／＼を過すにこそ。

臺所より富士見ゆ。露の木槿ほの紅う、茅屋のあちこち黒き中に、狐火かとばか
 り灯の色洗みて、池子の麓砧打つ折から、妹がり行くらん遠畦の在郷唄、盆過ぎてよ
 りあはれさ更にまされり。

明治三十五年九月

青空文庫情報

底本：「鏡花全集 卷二十八」岩波書店

1942（昭和17）11月30日第1刷発行

1988（昭和63）12月2日第3刷発行

※題名の下にあった年代の注を、最後に移しました。

※底本は、物を数える際や地名などに用いる「ケ」（区点番号586）を、大振りにつくっています。

入力：門田裕志

校正：米田進

2002年4月24日作成

2012年12月7日修正

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（<http://www.aozora.gr.jp/>）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

逗子だより

泉鏡花

2020年 7月17日 初版

奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
<http://tokimi.sylphid.jp/>